

平成 30 年度 事業報告
(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

当社団では、2006 年にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏の提唱する「ソーシャルビジネス」の考え方を広めていながら、「社会の課題を解決していこう」と挑戦されている方、これから挑戦しようとしている方の事業を応援するために、そうした挑戦者を応援したいとお考えの方々から資金をお預かりし、その基金からの出資と経営のアドバイスを行いました。

とくにみんなの夢 AWARD との連携を図りながら、ソーシャルビジネスに挑戦しようとしている人（出資を希望しているの方々）たちを応援してきました。下記、本年度の当事業年度の事業報告です。

(1) 当事業年度の計画

イベント企画への参加、セミナー／シンポジウムへの参加など積極的に活動を展開しました。

■みんなの夢 AWARD9 共催として実施

みんなの夢 AWARD9 に（共催）として参加しました。「みんなの夢 AWARD」は、社会の課題を解決し、みんなをワクワクさせ、みんなが夢をもちたくなるすてきな夢に贈られるアワードであり、夢アワードのプレゼンターは協賛企業からのサポートを得ることができる仕組みとなっています。このような仕組みで、社会の課題を解決する事業に挑戦する社会起業家を応援することを目的としています。当社団では、「ソーシャルビジネス」の事業資金として最大 2,000 万円を支援しました。

【みんなの夢 AWARD9 開催概要】

日時：平成 31 年 2 月 25 日（月）

場所：舞浜アンフィシアター

共催：一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

主催：公益財団法人みんなの夢をかなえる会会場：

参加者：2,200 人

■ソーシャルマネジメントカレッジ連携

友好団体 公益財団法人みんなの夢をかなえる会が連携するソーシャルマネジメントカレッジと連携し、ユヌス・ソーシャルビジネスのカリキュラムを行い、ソーシャルビジネスの起業家を拡大して、ソーシャルマネジメントカレッジ夏期集中講座を開催。

■ソーシャルビジネスセミナーの実施

みんなの夢 AWARD ファイナリスト向けに、ソーシャルビジネスのセミナーを開催します。2018 年 1 月にみんなの夢 AWARD9ファイナリストに、ソーシャルビジネスの講義、並びに、みんなの夢 AWARD9に向けて、ソーシャルビジネスの起業についてのワークショップを開催。みんなの夢 AWARD8ソーシャルビジネス賞を受賞した折に、各々がソーシャルビジネスを起業する為の事業計画書を作成しました。

(2) 出資に関して

みんなの夢AWARD7ファイナリストの山本亮氏が起業した「株式会社百笑の暮らし」の会社に390 万円を出資し、経営参画し事業立ち上げに注力します。
なお、みんなの夢AWARD8グランプリ、みんなの夢AWARD in 陸前高田グランプリ、その他のプレゼンターについても、出資について説明しており、今後も継続して折衝していきます。

■みんなの夢 AWARD8並びにみんなの夢 AWARD 地方版・その他のファイナリストからエントリー候補を模索

ムハマド・ユヌス氏の提唱する「ソーシャルビジネス」の考え方に沿う事業に対しての「出資」の検討を行っていきます。事務局、専門家からのアドバイスのもと、出資希望者からの面談を行っていきます。当団体が主催する、みんなの夢 AWARD9のファイナリストの中よりソーシャルビジネス候補を選定します。年度 1 社の出資を計画。金額は、最大2000 万円。なお、地方版・その他については、企画に応じて出資交渉権の上限を確定します。

(3) 出資先の経営参画

現在 4 社に出資しています。段階的に、ソーシャルビジネスの株主構成についても進化させています。

一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 1 号となった、Japan Aqua Enterprise は、ほぼ 100%に出資してソーシャルビジネス会社を設立しています。

2 社目となった、(株)Prima Pinguino については、株主構成 90%を出資し、社長の藤岡氏と既存の株主にも一部出資をしています。

3 社目の(株)リンクリンクについては、1200 万円の資本金のうち、1000 万円を同ファンドから、社長と取締役それぞれ 100 万円から出資している。

4社目の(株)百笑の暮らしについては、800万円の資本金のうち、390万円を同ファンドから出資し、経営参画として非常勤取締役を派遣します。410万円のうち自己資金、経営者の親族や知人等から出資を受けます。このように、当団体の株主出資だけでなく、なる

べく多くの株主にソーシャルビジネスの株主として参加を募り、一人でも多くのステークホルダーに参画して頂くようにしていきたい。

① Japan Aqua Enterprise

今後の事業方針 JAE の本来の事業である、バングラディッシュ農村地区に飲料水提供事業として、自転車搭載型浄水装置を使って、JICA の支援の下、展開する。また事業が進み、新たに BtoB 事業として、自転車搭載型浄水装置を使って、農村地区に出前ビジネスとして展開する。新たに、海水を飲料水にする為の人力海水淡水化装置に投資する。バングラディッシュのテロ事件以降、事業が止まっている。

代表取締役会長：勝浦 雄一

取締役：中川直洋（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 理事）

取締役：小田剛士（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 監事）

1. Japan Aqua Enterprise (JAE) 社の目指す今後の方向性

これまでのバ国での喫茶事業展開を中断して、JAE社の本来の目標である「バ国の農村部における100万人への安全・安心な水供給を目指す」事業展開に方向転換をはかる。具体的には、JAE社を日本ベーシック（NBC）社の主力製品である自転車搭載型浄水装置Cycloclean(CC)のバ国における製造販売の拠点と位置付ける。

2. JAE社のCC組立事業：NBCの技術指導を受けているバ国企業を外注先として活用しCCの組立事業を展開する。現地自転車組立会社やフィルター販売などの水処理会社との提携関係も強化し事業領域を拡大する。

3. JAE社のCCの販売事業：主要販売チャンネルとして次の2チャンネルを想定している。

①NBCを通じたJICAのODA事業向け

②JAEからのバ国内でのBtoBとしての、GrameenやBrac等のNGO向け

③NBCが日本で開発中の人力海水淡水化装置のバ国での輸入販売も視野に入れる。

4. BtoBの具体的展開策：CCを「移動式小規模分散型浄水場」と位置付け、「出前式浄水場」を運営面でNGOと提携し、バ国に於ける最大の課題である「水汲みと言う女性にとっての重労働」からの解放を目指す。

5. Grameen Veoliaとの提携：Grameenグループのソーシャルビジネス会社 Grameen Veolia社の固定式管路給水事業で目指す10万人給水（管路給水である為10Kmの範囲しか給水できない）の補完する形で提携を目指す。10Km以遠の農村住民に対し、CCで出前式浄水場を派遣することで管路の届かない住民に安全で安心な水を販売するもの。

② 株Prima Pinguino

プロジェクト：統廃合の危機にある離島中山間、地域の高校魅力化を通じた地域の活性化プロジェクト

代表取締役：藤岡 慎二（ふじおか・しんじ）

取締役：中川直洋（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 理事）

課題：離島中山間地域は人口減少に伴い少子高齢化している。少子化で高校の生徒数は減少し離島中山間地域の高校ほど統廃合の危機に瀕している。

目標：高校が魅力化することで、統廃合の対象だった高校が、生徒数が安定し、離島中山間地域も高校を中心に活性化されている。

事業概要：少子化が進む離島中山間地域の高校の魅力化を通じて、地域の活性化を図る。

高校の魅力化は①新感覚の寮生活、②高校の授業内容の変更、③公営塾の設立・運営を通じて実施する。生徒は地域内だけでなく、全国や海外から生徒を募集する。出資金額：1,000万円

【当期】魅力化プロジェクトの学校が 10 校と大幅に拡大し、事業として成功をおさめた。利益も確保し、3 期連続で配当予定。

起業塾の受託事業として、ソーシャルビジネス起業など、展開する。

③ リンクリンク

プロジェクト：“職・食・住”日本初シングルマザーをトータルで支援する。～一人でも多くのシングルマザーの「子ども達」に夢と希望の未来を！！

代表取締役：大津たまみ

取締役：中川直洋（一社ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 専務理事）

大地則幸

課題：現在全国にシングルマザーは100万人以上おり、その世帯年収は一般家庭の世帯年収の3分の1以下と言われております。子どもの成長期にシングルマザーの子どもは一人で過ごす時間が多いため、家庭内での会話をする時間も少なく社会とのコミュニケーションの取り方を学ぶ機会が少なく、その結果、一人親の元で育った子どもの犯罪率が高いという悲しい現実があります。家庭の中に大人が一人だけだと、子どもに出来ることも限られてしまい、シングルマザーの子どもの生活の安心安全の向上には、シングルマザーの経済的な自立が必須であります。

資本金 1,200 万円※出資金額：1,000 万円

目標：今期、名古屋2ホーム、関東1ホームを開設。中期（2021年）、名古屋15ホーム、関東10ホーム、沖縄5ホームを開設し、長期2026年では、全国で100ホームを目指します。2026年時の目標（シングルマザーハウス100ホーム開設、シングルマザーへの支援人数 登録者数 15万人 シングルマザーへの就業斡旋(パート含む)

900 人、サポート企業 200 社 売上 5 億 2 千万円)

事業概要：親が貧困だと子ども貧困状態になると言う現実を解決すべく、職（仕事）・食（食育）・住（住環境）の支援を行います。

- ・シェアハウス事業(シングルマザー向けシェアハウス運営)
- ・シェアタイム事業(シングルマザー・シングルファザー・プレシングルマザー(予備軍)への家事支援子育て支援・物品支援・経済支援)
- ・自立支援事業（シングルマザー就業支援・自立教育） シングルマザーへの教育

④ (株)百笑の暮らし

株式：発行株式総数1000株（普通株式500株、優先株式500株）

株主（発起人）資本金800万円

山本亮（76株 380万円）、山本昌子（2株10万円）、西山茂雄（1株5万円）、山浦芳夫（1株5万円）本多秀行（2株 10万円）

一般社団法人ソーシャルビジネスドリームパートナーズ（78株 390万円）

代表取締役 山本亮

取締役 山本昌子、西山茂雄、

中川直洋（一般社団法人ソーシャルビジネスドリームパートナーズ）

事業目的

1. 里山の食を味わえる飲食店の経営
2. 里山に暮らすように過ごせる宿の経営
3. 里山体験プログラムの企画・運営
4. 里山資源を活かした商品企画・製造・販売
5. 暮らしを楽しむためのイベントの企画・運営
6. 里山の再生と地域づくりにかんする事業
7. 前各号に付帯又は関連する一切の事業

事業計画

里山まるごとホテル

■コンセプト

里山まるごとホテルのコンセプトは「里山の暮らしをより楽しく」です
のと里山空港に降り立ち、緑に包まれたどこか懐かしいホッとする道を抜けると見えてくる1軒の茅葺屋根の建物「茅葺庵」。

そこは、昔ながらの自然に寄りそった暮らしが残る能登の里山の玄関口
縁側でぼーっとしながら里山の風景を眺め、田んぼから吹く風を感じる。釜戸で炊いたご飯と目の前でとれた野菜を頬張る。暮らしの知恵にあふれる地域のじいちゃん、ばあちゃんと囲炉裏を囲んでおしゃべり。

里山まるごとホテルは、茅葺庵を中心に地域全体を1つのホテルに見立て、そんな能登の里山の暮らしの魅力をまるごと楽しむための場。日本で初めて世界農業遺産に認定された能登の暮らしの魅力をより楽しく、より気軽に味わえます。

そしてそれは外から訪れた人だけでなく、この地に暮らす人にとっても。

世界から認められた、能登の暮らしや文化、風景はそこに暮らす人がいたからこそ生まれ、磨かれ、保たれてきたもの。そう、能登の最大の資源はこの地で暮らす「人」です。その人達が暮らしをより楽しくしていけば価値はさらに磨かれていき、持続性が高まります。里山まるごとホテルはこの地の人にとっても里山の暮らしをより豊かに、より楽しくするたの場になりたいと思っています。

そんな双方向の価値をつくることは両者にとってプラスの循環を生みます

■ミッション（理念、事業目的）

10年後に能登の里山の暮らしが、日本の豊かな暮らしの基準の1つになっている社会をつくる。

■業態 和食（定食屋）

特徴 里山をまるごと味わう

里山の暮らしの一番の楽しみ、それは手仕事で丁寧につくられたものを味わうことであり、それが自らが手をかけたものであったり、つくった人の顔が浮かぶものであるとその喜びは倍増する。釜戸で丁寧に炊かれたお米と能登の里山で受け継がれてきた食文化をベースにした定食を基本に、「自らが手をかける楽しみ」と「人と交流する楽しみ」をプラスする。

■業態 ゲストハウス（簡易宿泊所）

■体験事業

■物販事業

■旧福島邸の貸室事業

毎週土曜に継続的に開催されている奥能登倫理法人会のモーニングセミナーの受け入れ
売上・利益計画

4月1日営業開始 初年度売上計画 売上1600万円 利益-180万円

（2期から黒字化へ）

（4） その他 法人サポーター制度に関して

当社団の活動の主旨に賛同していただいた方に、ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズの法人サポーター（協賛）になっていただき、下記の区分により会費を頂きます

・法人サポーターについて 会費（年額） 50,000 円

・募集体制：募集方法は、人的ネットワーク、公式 HP などを通じて法人の協賛を行っていきます。

■法人サポーターを募集しました。共催イベント「みんなの夢AWARD9」の協賛社にお声かけを行い、法人サポーターを募集します。
協賛して頂いた企業のロゴマークを、ホームページに掲載します。

以上